

2021年度
八戸学院大学
健康医療学部 看護学科
学校推薦型選抜（I期）

小論文

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かない。
- 2 筆記用具は黒色の鉛筆またはシャープペンシルを使用する。
- 3 問題冊子に印刷不鮮明、ページの落丁などがあるときは、手を挙げて監督者に伝える。
- 4 問題冊子の余白等は適宜利用してよい。
- 5 問題冊子は持ち帰ってよい。

以下の文を読み、問いに答えなさい。

全身の筋肉が徐々に衰える難病「筋萎縮性側索硬化症」(ALS)を患う京都市に住む女性に頼まれ薬物で殺害したとして、嘱託殺人の疑いで、仙台市泉区と東京の医師2人が京都府警に逮捕された。

女性は51歳で、会員制交流サイト(SNS)を通じ仙台市の医師と連絡を取り「安楽死させてほしい」という趣旨の依頼をした形跡があった。医師側には女性から現金130万円が振り込まれていた。

調べによると、医師2人は昨年11月、女性の自宅を訪れた。2人は5～10分で現場を後にし、席を外していたヘルパーが意識不明となった女性を発見した。2人は女性の主治医ではなく、診察や治療をしたこともないとみられる。

患者を死なせた医師が有罪になった例は過去にもあったが、主治医でもない医師がインターネットを介して依頼を受け、報酬を受け取っていたとされる点で異質だ。ALS患者や家族に与えた衝撃も大きい。容疑が事実なら医師として許される行為ではない。

事件を「安楽死」を認めるべきかどうかの議論と結び付け、医師に賛同する意見も出ているという。しかし、女性は死期が迫っていたとは言えず、医師は診察さえしていない可能性が高い。終末期医療の問題以前の事案であり、切り離して考えるべきだ。

主導したとみられる仙台市の医師はネット上で安楽死を肯定する発信をしていた。

人気漫画『ブラックジャック』のキャラクターで、高額の報酬で安楽死を請け負う医師「ドクター・キリコ」を気取り、「自殺ほう助になるかもしれないが、立件されないだけのムダな知恵はある」などと書き込んでいた。内容から命と真摯(しんし)に向き合う姿勢は感じられない。

女性は病状が進み、24時間態勢で看護を受けていた。ブログに「こんな姿で生きていたくないよ」と記し、苦悩は他人にはうかがい知れないほど深かったことだろう。

医療の進歩で難しい病気でも生命を長期間維持できるようになったが、生活の質まで保たれるわけではない。

オランダやベルギーなどは安楽死を合法化した。スイスのように手続きに沿えば自殺ほう助を容認する国もある。日本でも脚本家の橋田寿賀子さんが2016年、月刊誌で「安楽死を認めるべきだ」との文章を發表し、論議を呼んだ。回復の見込みがなく死期が近づいている人が、本人の意思に基づいて延命措置を受けずに自然に死を迎える「尊厳死」を求める人たちの活動も広がっている。

一方で、患者からは自分たちの生きる権利を否定しないでほしいとの声が出ている。

終末期医療をめぐる問題は冷静に議論を積み重ねて方向性を探らねばならない。その機運に水を差すようであってはならない。

参考文献

ALS 嘱託殺人/安易な安楽死論議を危ぶむ
河北新報 社説 2020年7月30日 木曜日

問い この記事の論旨（主張したいこと）を挙げ、それに対するあなたの考えを 600 字以上 800 字以内で述べなさい